

2025.1.1.

NPOフォーラム・だより No.114



NPO法人安房文化遺産フォーラム (共同代表：愛沢伸雄, 池田恵美子)

〒294-0045 千葉県館山市北条 1721-1 TEL&FAX : 0470-22-8271

Eメール awabunka@awa.or.jp 公式サイト <https://awa-ecom.jp/bunka-isan/>

会員・寄付募集中! 年会費=正会員 A:10,000円 (総会議決権あり)・賛助会員 B:2,000円・法人 10,000円
(ゆうちょ銀行口座: 00260-1-97307 名義 NPO 法人安房文化遺産フォーラム)

◆ 第30回 安房地域母親大会

100年後の子どもたちに希望を手わたそう!

～「安房大神宮の森」からみんなで話そう、安房の未来～

2月8日(土) 13:00～16:00

館山市コミュニティセンター第一集会室

参加費無料・資料代 500円 <託児室あり(無料)要予約>

安房神社周辺の森では、環境を再生し、風土を育み、共有財産として未来の子どもたちに手わたそうと、「大神宮の森コモンプロジェクト」が進められています。2名の講演後は新たな気づきや希望を得られるような「話し合いの広場(哲学対話)」を開催します。

日常の小さな問いをみんなで考える場を「哲学対話」と呼び、対立を乗り越え良好な関係や気づきをもたらすコミュニケーションの手法です。対話は、意見をぶつけ合うのではなく、互いに耳を傾け合うことを大切にします。

講師：高田宏臣さん(安房大神宮の森コモンプロジェクト主宰・館山市森づくり大使)

永井玲衣さん(哲学者・作家)



2月9日(日) 9:30～11:30

安房大神宮の森ウォーキング <要予約>

集合 9:15 館山野鳥の森

参加費：環境維持協力金 500円・高校生以下無料

◎ 山道を歩きやすい靴・服装・飲料・雨具持参

※雨天中止

日本母親大会は、ビキニ環礁の水爆実験を機に始まった原水爆禁止の訴えを原点として、「生命を生み出す母親は、生命を育て、生命を守ることをのぞみます」というスローガンを掲げ、1955年に取り組みが始まりました。

その後、全国に広がり、安房地域母親大会は1996年から、老若男女を問わず誰でも参加できる学びや「話し合いの広場」を開催し、30年目を迎えます。

*主催：第30回安房地域母親大会実行委員会

<実行委員長：池田恵美子 / 副実行委員長：齊藤陽子・本明明香>

*構成団体：国連 NGO 新日本婦人の会館山支部、国連 NGO 新日本婦人の会鴨川支部

国連 NGO 新日本婦人の会鋸南やまゆり班、安房地域女性連絡会

全日本年金者組合安房支部、NPO 法人安房文化遺産フォーラム

◆ 第87回 知恵袋講座

～ NPOメンバーが講師となって楽しく学び語り合う茶話会です。～

2月22日(土) 13:30～16:00 豊津ホール

参加費(資料・茶菓子代): 会員 200円、非会員 500円

かたがた

片方 義明さん 「元房日新聞社長の半生記」

NPO 副理事長でガイドリーダーの片方さんが、様々な職業を経て

房日新聞の社長まで歴任した半生を面白おかしく語ります。乞うご期待!

会場に注意。
赤山の隣りです

NPO設立 20周年記念交流会

見学会・コンサート 90人、シンポジウム 140人、交流会 60人の参加があり、大盛況でした。温かいご支援に感謝申し上げます。後日、YouTubeにUPします。

NPOの設立20年を祝い、懐かしい顔ぶれが再会を喜びました。



*当日の資料冊子は1,000円で販売しています。オンラインショップまたはNPOへお申し込みください。



病気療養中の愛沢伸雄代表も元気に研究報告ができました！



各分野のご登壇者の皆様、ありがとうございました。



池田恵美子共同代表 片方義明副代表 石井浩己館山市教育長



河正雄氏(韓国光州市立美術館名誉館長)とご家族



遠路はるばる多くのご出席者があり、20周年祝賀交流は盛会でした！



李政美さんの歌とチャンゴ(韓国の太鼓)に合わせて、輪になって踊ろ！

◆ 第 58 回千葉県歴史教育研究集会 - 子どもと地域・社会科を考える -

主催：千葉県歴史教育者協議会、(NPO フォーラムは法人会員で、安房支部を担っています。)

1月18-19日(土日) 会場：千葉県立東葛飾高校 参加費：1日1,000円、2日2,000円

※ 詳細はNPOにお問合せください。 申込：https://peatix.com/event/4189969/



1/18 (土)	12:30-13:30 14:00-15:00 15:10-16:40	ワークショップ 糸紡ぎ体験／教科書問題／韓国絵本／錬金術／紋きり 「館山まるごと博物館」／世界記憶遺産のウクライナ抑留画／ボードゲーム教材 地域実践報告 「福田村事件から中学生は何を学び、考えたか」 「関東大震災時の栃木県小山市の民衆暴力」 記念講演 ：大日方純夫さん(早稲田大学名誉教授) 「近代日本の警察と地域・民衆—千葉県を中心に」
1/19 (日)	9:00-16:00	分科会 ：小学校/中学校/世界/地域/平和と民主主義(実践報告) (安房)・関和美「安房地域の史料からみる図書館」 ・池田恵美子「建立400年のハングル『四面石塔』の謎をさぐる」 ・上田敦子『『世界の今を歴史から読み解く』市民学習会 千葉県 AALA』

▲ 安房から3名が報告します。

ふえみん No.3405 2024/12/15



上) 天羽道子さんと池田恵美子さん
下) 「嘘従軍慰安婦」碑



11月17日、ふえみんは、日本人「慰安婦」であると言われてきた城田すず子さんが後半生を過ごした、千葉県館山市にある、婦人保護長期入所施設「かいた婦人の村」(以下、かいた)へのスタディツアーを行った。(編集部)

ふえみん主催「かいた婦人の村」を訪れるスタディツアー
日本人「慰安婦」城田すず子さんの足跡に触れて



かいたは、館山の海が見下ろせる房総の小高い丘にある。住居棟など小さな建物がいくつ並び、広大な畑には野菜や果樹が植えられ、みかんがたわわに実っていた。参加者はまず礼拝堂の地下納骨堂に入り、城田さんたちの写真を前に手を合わせた。礼拝堂で、施設長の五十嵐逸美さんと、かいたのスタディツアーガイドを請け負う「安房文化遺産フォーラム」代表の池田恵美子さんから、施設の歴史や入所者について聞いた。

1965年に開設されたかいたは、売春防止法で規定される「要保護女子」の中でも、知的障害・精神障害を抱え、長期の保護による生活支援を必要とする女性を全国から受け入れてきた。現在は、性暴力被害やDV被害に遭い、行き場をなくした19〜92歳の女性たち40人が、農園、パン作り(休止中)、編み物、陶芸など、自分で選んだ活動をしている。五十嵐さんは「かいたは、共同生活の村のような。二〇二〇年を城田さんが切望し、故・深津文雄牧師の尽力で開設された。パン作りも城田さんの提案だったと聞いている。この二〇二〇年を地域に広げて、優しいまなざしを向けてくれる運動もしてきた」と語った。かいたには、入所者と地域の障害者が共に活動する作業所もあり、バザーや音楽会などのイベントにも地域の人が積極的に参加しているという。

城田さんは入所後、「慰安婦」体験を告白し、仲間の鎮魂を願ったことから、95年、敷地内に「嘘従軍慰安婦」の碑が建てられた。山の頂まで坂道を上り、碑を見学した。昼食後は、池田さんから、地域の有形無形の固有資源を野外博物館とする、エコミュージアムとしての「館山まるごと博物館」の話聞いた。実はかいたは、旧海軍砲台跡地に建っている。周辺には海軍航空隊の地下壕など、数多くの戦跡が残る。

池田さんは「これからは、平和・交流・共生の歴史文化を学ぶヒストリウムという平和産業が必要だと思っ、皆さんも自身の地域でぜひ探してみてください」と話した。かいたでは、現在、住居棟の建て替え工事が進むが、建設資金が足りず、寄付を募っている。この日、プロテスタントの奉仕女として、深津牧師と共に創設以前から、施設と女性支援に尽力した天羽道子さんが「ご支援に感謝しています」と挨拶に来てくれ、皆で出合いを喜び合った。

* 寄付は、「かいた婦人の村 建設資金寄付」で検索を。

*** かいた婦人の村 新棟に引越完了!**

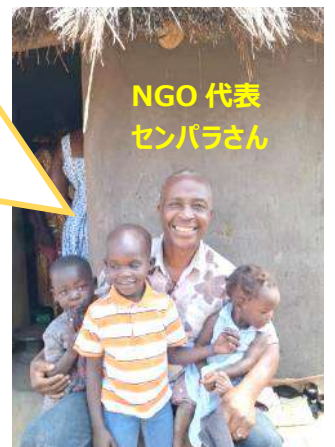
連携を図っている女性自立支援施設「かいた婦人の村」は引き続き支援者を募集しています。月々の定額システムは500円からお気軽に手続きできます。



*** NGO ウガンダ意識向上協会 (CUFI) へ クリスマス支援金 10万円を贈りました。**

平和学習から始まったウガンダ支援交流は、30年になります。第20回安房・平和のための美術展のチャリティ基金や、ウガンダ珈琲をご愛飲された皆様の支援金から、今年も送金することができました。貧しい子どもたちの学費やコミュニティ生活援助、農園運営など有益な事業に活用されます。

ウガンダ珈琲のご購入はオンラインショップ「館山まるごと博物館」からお申し込みください。



NGO 代表 センパラさん